

本庄市空間放射線量測定結果

下記の測定は、埼玉県と同様の空間放射線専用測定機器を導入し、計測を行いました。
測定値は、計測の時間帯や天候等に影響を受けることがあるため、あくまでも参考の数値となります。
なお、測定値には自然から受ける放射線量が含まれています。

測定日：平成30年6月28日

測定箇所	時	測定値 ($\mu\text{Sv/h}$)			換算値 (mSv/年) ※		
		5 cm	50 cm	100 cm	5 cm	50 cm	100 cm
1. 旭小学校	16:10	0.071	0.069	0.064	0.373	0.362	0.337
2. 仁手小学校	16:30	0.067	0.068	0.070	0.351	0.360	0.367
3. 市民体育館	15:50	0.070	0.058	0.056	0.370	0.306	0.293
4. 消防本部	15:30	0.069	0.059	0.063	0.365	0.308	0.332
5. 本庄市保健センター	13:52	0.073	0.057	0.060	0.384	0.302	0.314
6. 共和小学校	14:25	0.075	0.074	0.075	0.393	0.388	0.393
7. 児玉文化会館セルディ	14:52	0.065	0.052	0.052	0.342	0.275	0.272

※換算値とは測定値を年間の放射線量に直したものです。結果は mSv (ミリシーベルト) $= 1000 \mu\text{Sv}$ (マイクロシーベルト)で表します。屋内(木造)についての活動は、屋外の0.4と換算し、屋外を8時間、屋内を16時間の計24時間で換算しています。上記により、換算値 $= (\text{測定値} \times 8\text{時間} \times 365\text{日} \div 1000) + (\text{測定値} \times 0.4 \times 16\text{時間} \times 365\text{日} \div 1000)$ で算出しています。

■測定場所：市内各7ヶ所

■測定方法：地表より5cm、50cm、100cmのそれぞれの高さで放射線量を測定する。

時定数は自動的に設定される。

指示値が安定したのち、表示されたデジタル数値を約10秒間隔で読み取る。

それぞれの高さで5回読み取った数値を平均化し測定値として算出する。

■測定器具：携帯型放射線測定器

(富士電機株式会社製 シンチレーションサーベイメータNHC7)

■参考情報：人間が年間「自然界から受ける放射線量」は、1人当たり世界平均約2.4mSvとされています。

なお、平常時に「自然界から受ける放射線量」と「医療により受ける放射線量」を除いた場合の

放射線量は1年間で約1mSv以下が望ましいとされています。(2007年、国際放射線防護委員会調べ)

■参考リンク：[原子力規制委員会](#) 「放射能を正しく理解するために」(外部リンク)

[放射線医学総合研究所](#) 「放射能被ばくの早見図」(外部リンク)